

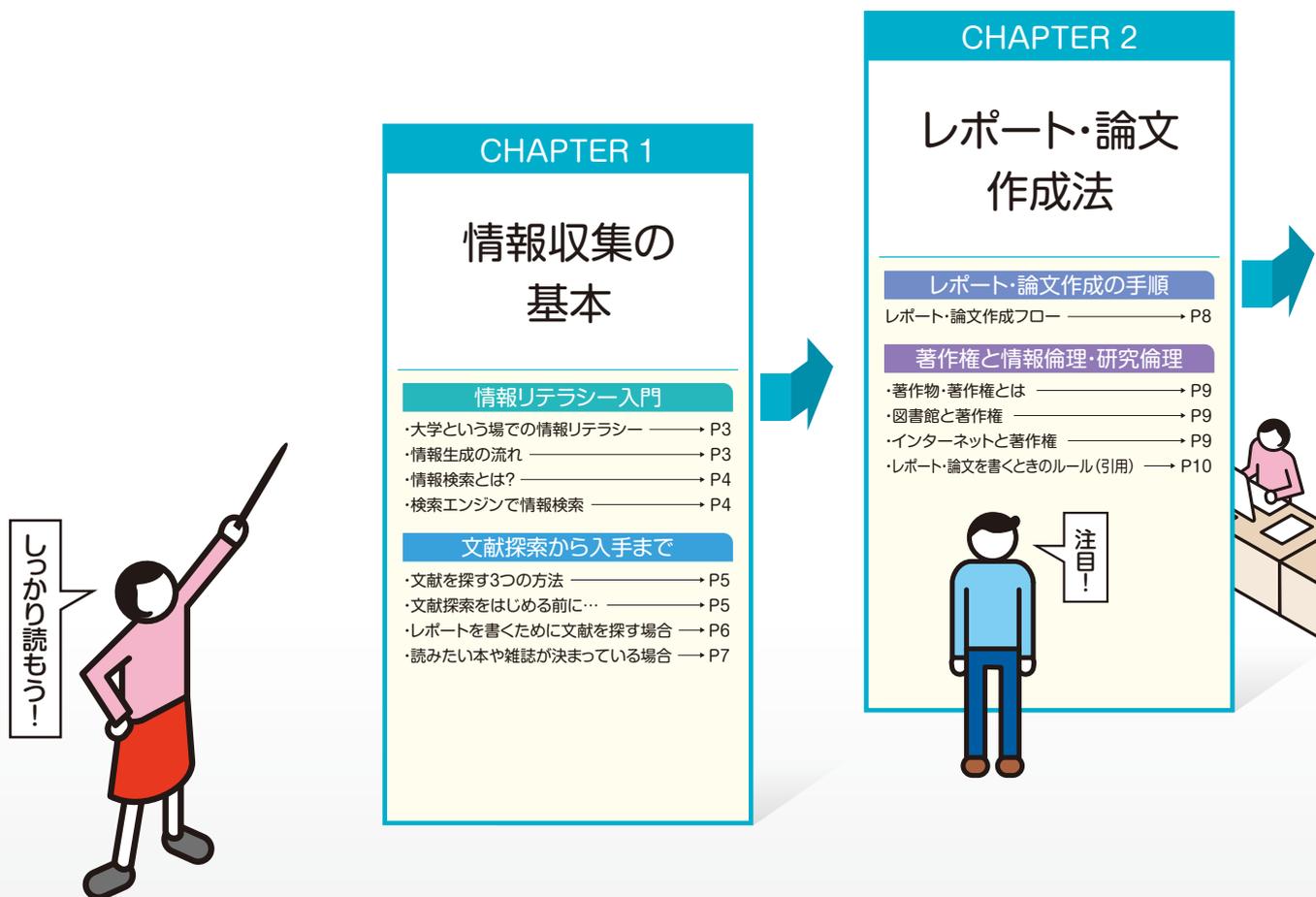
情報収集をはじめる前に

この冊子は、みなさんがレポートや論文を作成する際に適切な文献や情報を見つけられるよう、必要な知識と技能を身につけるためのものです。レポートや論文は、自分の考えだけを書くのではなく、今までに公表された研究論文・記事を探し出し(先行文献の調査)、その内容を踏まえて自分の見解をまとめていく必要があります。段階的な学習ステップを踏み、基礎的な「文献と情報の探し方」をしっかりと身につけていきましょう。

「知って得する情報活用ブック」Webサイト »



学びのフロー&コンテンツ



データベース活用法

インターネット上の膨大な情報の中から、効率的に必要な情報を探し出すことができるデータベースやWebサイトがあります。

■ 図書を探す

→P19~21

データベースを利用して、自分の設定したテーマにあう図書を幅広く探してみましょう。図書を探すために必要なテーマに関連するキーワードは、辞書・事典のデータベースを利用して見つけましょう。

■ 雑誌記事を探す

→P22~25

学術研究の成果はまず雑誌に発表されることが多いです。データベースを利用して、自分が設定したテーマに関する雑誌論文を、学会誌・紀要などの学術誌(Journal)や一般雑誌(Magazine)から探してみましょう。雑誌論文を活用し、専門的・先端的な意見を吸収することで研究の質が向上します。

データベース活用法

就職活動にも
使える！※

CHAPTER 4

基本文献資料の
探し方

図書を探す

- ・Webcat Plus → P19
- ・カーリル → P20
- ・Books.or.jp (日本書籍総目録) など → P21

雑誌記事を探す

- ・magazineplus → P22
- ・日経BP記事検索サービス → P23
- ・NDL ONLINE (国立国会図書館オンライン) → P24
- ・国立情報学研究所 (NII) 論文情報など → P25

新聞記事を探す

- ・日経テレコン → P26
- ・朝日新聞「聞蔵Ⅱビジュアル」 → P27
- ・読売新聞「ヨミダス歴史館」 → P28
- ・その他の新聞記事検索 → P29

CHAPTER 5

専門情報の
探し方

分野別情報を探す

- ・辞書・事典で用語、事象などを調べる → P30
- ・企業情報を調べる① → P31
- ・企業情報を調べる② → P32
- ・企業情報を調べる③ → P33
- ・法律情報を調べる → P34
- ・人物情報を調べる → P35
- ・統計データ、政府刊行物情報を調べる → P35
- ・国外の文献や情報を調べる① → P36
- ・国外の文献や情報を調べる② → P37
- ・国外の文献や情報を調べる③ → P38

これで完璧！

※CHAPTER 4、CHAPTER 5は、就職活動を行う際の企業分析や業界研究、志望企業選び、面接対策にも活用可能です。

このアイコンがついているWebサイトは、スマートフォン対応です。スマートフォンでも快適に閲覧できます。

学内 マークのあるサービスは、学内限定で利用できます。学内無線LAN(WiFi)に接続すれば、スマートフォンなどの端末でもアクセスできます。

CHAPTER 3

本学図書館にある
資料の探し方

図書館資料の検索方法

- ・阪南大学図書館ウェブサイト → P11
- ・OPAC (蔵書検索) で検索する → P12
- ・OPAC (蔵書検索) で検索結果を見る → P13-14
- ・OPAC (蔵書検索) から予約する → P15
- ・OPAC (蔵書検索) でのブックマーク → P16
- ・マイライブラリ → P17
- ・新着図書を知り～図書の新着条件を設定する～ → P18
- ・雑誌の最新号を知り～雑誌の新着条件を設定する～ → P18

新聞記事を探す

→P26～29

テーマに関する最新ニュースがわかり、最も速報性が高いのが日々発行される新聞です。また、過去の経緯を遡って事実確認をしたり、物事や人物に関する情報などを調べる場合にも、新聞は有益な情報リソース (情報源) となります。データベースを利用して、自分が設定したテーマに関する新聞記事を探してみましょう。

分野別情報を探す

→P30～38

図書や雑誌論文、新聞記事の他に、調査・研究に役立つデータベースが多数あります。分野別の情報リソース (情報源) として、辞書・事典などの用語や事柄の情報、企業情報、法律情報、人物情報、統計データ、外国の文献などを調べるための便利なデータベースを紹介しします。